2014年 秋季大会

講演題目

LHC-ATLAS 実験におけるハードウェアミュオントリガーシステムの改良

英文タイトル

Upgrade of the hardware muon trigger system for LHC-ATLAS experiment

要旨

高輝度下で行われるATLAS実験で効率良くデータ取得を行うためには、背景事象によって発行されるミュオントリガーを除去し、トリガーレートを削減することが不可欠である。2015年からの実験では現在までのエンドキャップ部トリガーチェンバーに対して、衝突点近くに設置した検出器とのコインシデンスを要求することで背景事象によるトリガーのみを選択的に除去する。

本講演では新しいトリガーシステムをデータ収集フレームワークに実装する作業の現状について述べる。

(222 文字)

所属

京都大学、神戸大学^{AA}、KEK^B

氏名

救仁郷拓人、石野雅也、隅田土詞、田代拓也

蔵重久弥^{AA}、長谷川誠^{AA}、矢力部遼太^{AA}、佐々木修^B

他 ATLAS 日本 TGC グループ